

前年度評価結果の概要
○学校全体が落ち着いた服装・髪型指導やあいさつ指導、校内の環境美化等が徹底しているが、自転車による事故の件数も多く、交通安全指導の一層の取組が必要である。
○本校の使命である「真の文武両道による人材育成」のあり方について再度共通認識を図り、達成に向けた協働の意識と行動をとれる教職員集団づくりが必要である。
○生徒の変化に対応し、高い目標を掲げ、主体的に努力し、達成していくことのできる生徒を育てるための、指導体制、方策を再構築していく必要がある。
○本校創立50周年にむけて、今後の大学入試制度改革に対応できる指導体制をつくりながら、県下ナンバーワンの進学校としての基盤作りを取り組む必要がある。

学校教育目標 中期目標 重点目標
「誠実・自主・創造」の校訓のもと、混迷する社会において、逞しく生き抜き、社会をリードし、積極的に貢献できる生徒の育成を目指す。
1 真剣な学習活動と活発な部活動を通して、文武両道を推進する。
2 信頼関係に基づいた、手厚い生徒指導と積極的なキャリア教育により、心豊かで、尊敬される人間形成を推進する。
3 確かな学力の定着と3年間を見通した進路指導により、進路希望の達成を目指す。
1 学力向上と3年生全員の第1志望校の合格を目指す。
2 高い規範意識を育む中で、生徒自身の自立を促す。
3 県下ナンバーワン5項目(授業満足度、あいさつ、人材育成、PTA・同窓会との連携、地域に信頼される学校)の実現を目指す。

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 検証結果(自己評価) (評価, 重点的取組・取組指標の実践, 今後の改善策), 学校関係者評価. The table contains detailed evaluation data for three main goals (1. Academic achievement, 2. High ethical awareness, 3. No.1 in prefecture) across various indicators and implementation strategies.